

ロードレーサー

中根
英登さん
(31歳、森岡)



プロフィール

大学から本格的に自転車競技をはじめる。在学中にヨーロッパのチームに所属し、プロ選手生活をスタート。世界最高峰チームの1つであるEF エデュケーション・イージーポストに所属し、クライマーとして活躍。※長距離の登り坂得意とする選手



自転車競技界で最高峰に位置するチームを「ワールドチーム」と呼ぶ。そこに所属できる選手は、全世界で約600人。その中の1人が中根さんは、全然知らないんだ。

幼い頃から田舎でいたのかと思ったりや「まさか、自分が自転車競技のプロ選手になるとは…」と振り返る。なぜ、自転車の道を歩むことになったのか？

「サッカーが大好きで、サッカー選手になるのが夢でした。そして、父は自転車競技で名の知れた人。心のどこかで一緒に「ことはやりたくない」と思っていましたね」。

高校生のとき、自転車競技の漫画にハマったことがきっかけで、サッカーチームに所属するかた車競技のインターハイ予選に挑戦。「そしたら、勝つてしまつて(笑)。インターハイでは10位くらいでゴールすることでき、本格的に自転車をはじめました」。



中根さんにとつて自転車競技とは何かと聞くと「始めた当時、自転車は一番好きなもので車はなかつたけれど、自分の能力を發揮できたもの。得意なことを見つけることができたと思うています」と話す。

日本では、自転車競技はまだまだマイナーなのが。「豪雨や強風の中、震えながらレースを行い、低体温症に

なったというエピソードからも、レースの過酷さがうかがえる。

最後に魅力を聞いてみた。「自転車のスピード感です。エンジンではなく人力で自動車並みの速度を生み出すのはすごいと思います。また、テレビなどでレースを見る際は、自転車に興味がなくても、開催地の風景を楽しむのもおすすめ。そこから『自転車つておもしろそう』と思う方が一人でもいたらうれしいですね」。

